

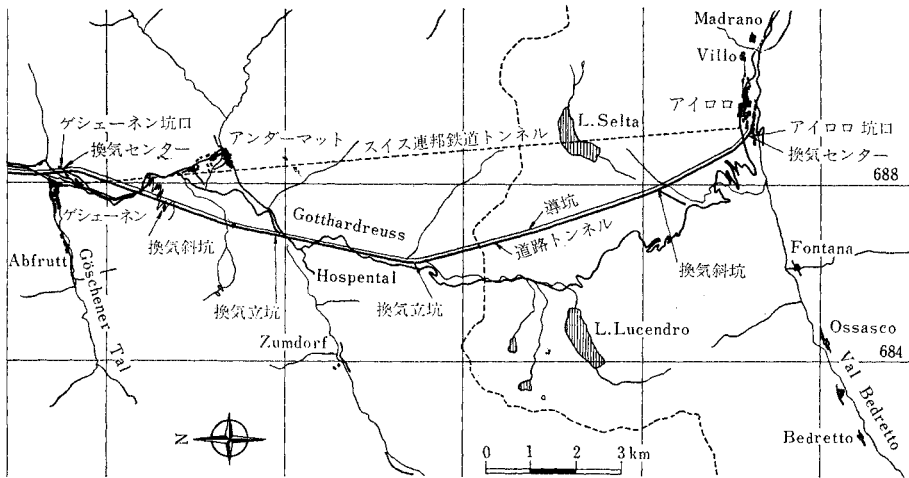
ゴットハルト トンネルの導坑貫通

ゴットハルト道路トンネルの導坑が、昭和 51 年 3 月 26 日

北より 8.009 km, 南より 8.268 km の点で貫通した。この時点で本トンネルは、北より 6.806 km, 南のアイロロより 6.385 km, ロスグレンツェより 300 m 突破されている。爆破作業は北工区では完了しているが、南工区であと 2.831 km 残っている。爆破作業は、1977 年春まで続けられ、トンネルの供用開始は 1980 年の始めとされている。

なお、本トンネルは、完成の暁には世界一(16.322 km)の長大トンネルとなる。

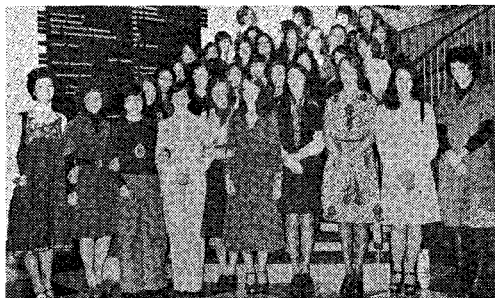
(津田 剛・記)



ゴットハルト トンネル位置図

土木工学を修める女性群

“CONCRETE” 誌 1975 年 12 月号 (Vol. 9-12) によれば、コンサルティングエンジニアになりたい女性たちの申し



頼もしい(?) 土木技術者たち

込みが、ここ Leeds University では日常茶飯事であり、赤い気炎を上げているとの由。

レポーター R.J. Barfoot によれば、ここには入学したばかりの乙女たちから MSc や PhD を目前にした女性たちが多数おり、彼女ら 集団とのインタビューは心おどるものであったという。

ケント州、ホンコン、オランダ、ダービー、アメリカ合衆国等世界の各所から集ったミスやミセスらは、「いろいろの物をつくりたいから」、「その創造性にひかれて」、「建築を学んだので、次に……」、「父の影響で」、「私の意志で」、「数学の延長線上で」等々ここへ入学してきたいきさを語ってくれた。

それも、ごく自然に、あるいは自信をもって、いつかの日、彼女らの中から “The Concrete Society” の会長が出るのではないかと、Barfoot 氏は記している。男の城・土木工学界——しかし、イギリスではわが国とは多少事情が異なるようである。

(正会員 君島博次・抄記)

建設プロジェクトの進め方

A 5 判・上製・220 ページ

51 年 9 月刊・定価 2800 円 (会員 2500 円・千 200)

—Civil Engineering Procedure の翻訳と解説—

土木学会海外活動委員会が編集した“海外建設工事の契約・仕様”に続く第二陣。Institution of Civil Engineers(I.C.E., 英国土木学会)の協力のもとに国際的に定評ある出版物を対訳風に解説した基本条項。1. 発注, 2. 調査と報告書, 3. 設計ならびに契約, 4. 建設, 5. 人材養成とマネジメント, 付録。講習会を企画中(本号会告参照)。